

昨年9月で開館5周年のユニバーサルシアター・CINEMA Chupki TABATA (東京都北区)が更なる活動の展開のため、8月31日までクラウドファンディングで支援を呼びかけている。

支援金は、「DCP映写機の導入」と「プロデュース映画『ここらの通訳者たち』の全国上映」の費用に充てられる。DCPとは、映画に

含まれる高解像度の映像・音声・字幕などのデータが入ったファイルを指す。昨今、DCPでの上映が主流になっており、Chupkiに今ある映写機は非対応ゆえ、上映を諦めた作品も多い。一方、「ここらの通訳者たち」は手話に音声ガイドを付ける挑戦を迫ったドキュメンタリー。10月1日に同館で先行上映後、同22日より順次、全国での劇場公開を広げていく。

目標額は600万円
で支援額は1000
50万円の9種類。金額
に応じ、外国映画の吹き替えや1日館長の権利、鑑賞券などが贈られる。詳しくは、件名を「クラウドファン申し込み」とし、メール (cinema.chupki@gmail.com) へ。【澤田健】



CINEMA Chupki
TABATAメンバー

クラウドファンディング開始